



外観



アクセスプラザから改札口をのぞむ



改札口

中部国際空港駅

駅構造 高架式1層

多機能トイレ 2ヶ所

利便性・安全性・快適性に配慮

バリアフリー対応

駅ホームとアクセスプラザを段差なしで接続することにより、空港施設との連続性に留意しています。

ワイドタイプの改札

通常の改札よりも広いワイドタイプの自動改札機を採用し、ホーム上まで荷物用カートを乗り入れることができるなど、空港利用者の利便性向上を図っています。

安全で快適な駅空間

ホームに自動ドアで開閉するガラス壁や車両と連動するホーム柵を設置するとともに、防風・防寒対策として、駅に側壁と天井を設けるなど、安全で快適な駅空間づくりをしています。さらに、駅付帯施設として、案内所・待合室・売店なども設置しました。

将来の輸送力増強

ホーム及び線路配線は、2面3線の8両ホームで、将来の輸送力増強に対応するため、2面4線に拡充することも可能となっています。



外観



改札口



りんくう常滑駅

駅構造 高架式2層

エレベーター 各ホーム1基(計2基)

バリアフリーに配慮

車いす対応エレベーター

2面2線8両ホームの高架駅で、地上階とホームを結ぶ車いす対応エレベーターを2基設置し、体の不自由な方やお年寄りなどにも優しいバリアフリー化を図っています。



海上橋

空港島と空港対岸部約1.2kmを結ぶ空港連絡橋りょう(海上橋)は、厳しい海洋環境下において100年間の耐久性を確保できるコンクリート構造となっており、地域のシンボリックな景観を形成しています。

中部国際空港連絡鉄道株式会社の概要

名称	中部国際空港連絡鉄道株式会社 Central Japan International Airport Line Company, Ltd.
本店所在地	名古屋市中区丸の内三丁目19番30号 愛知県住宅供給公社ビル3階
設立日	平成11年6月17日
資本金	88億円
出資者	愛知県、名古屋市、岐阜県、三重県、常滑市、名古屋鉄道(株)、(株)日本政策投資銀行、中部電力(株)、(株)三菱東京UFJ銀行、東海旅客鉄道(株)、トヨタ自動車(株)、(株)デンソー、東邦瓦斯(株)、日本碍子(株)他(全45団体・企業)
事業内容	鉄道事業法による第三種鉄道事業及び付帯・関連する事業

*掲載内容は平成26年3月時点の情報です。